

情報教育全体計画

学校教育目標

未来をきりひらく、たくましい人間の育成

情報教育の重点目標

- 1 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受けての状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を育成する。
- 2 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自ら情報活用を評価・改善する為の基礎的な理論や方法を理解させる。
- 3 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育成する。

情報教育推進のための環境整備

●情報機器・環境

- ・視聴覚機器も含めた情報機器の導入整備
- ・パソコン室の管理運営
- ・教育用コンテンツの整備

●ネットワーク

- ・インターネット
- ・校内 LAN

●研修、講習会

- ・全職員対象の校務支援システム研修
- ・全職員対象のセキュリティアンケート
- ・全生徒対象の情報モラル講習会

●情報機器の授業内での活用

- ・タブレット端末の活用

各教科等での実践

【各教科】

- ・タブレット端末を活用し、個人やグループで、考えたり、調べた内容をまとめ、交流する

【技術家庭】

- ・情報機器の構成、基本操作
- ・ソフトウェアの機能と活用
- ・ネットワークの仕組みと利用

【総合的な学習の時間】

- ・修学旅行や職場体験学習など、総合的な学習の時間で取り組んだ内容をパワーポイントでまとめて発表

【その他】

- ・ネットワークによる資料の収集
- ・開かれた学校を目指した地域社会との交流(学校 Web ページの定期更新)

情報社会に参画する態度

- ・情報技術の役割や影響の理解
- ・情報社会の光と影を考える
- ・情報社会の加害者にも被害者にもならない姿勢の理解

情報の科学的理解

- ・ハードウェアとソフトウェアの構成と特徴の理解
- ・簡単なプログラミングや計測・制御システムを利用した作品制作

情報活用の実践力

- ・プレゼンテーションの実施
- ・情報検索機能を用いたインターネットの利用
- ・課題や目的に応じたソフトウェアの利用